



永井地区 まちづくりの会 情報紙

第 11 号

発行日:平成 23 年 1 月 15 日

発行人:永井地区まちづくりの会

お問い合わせ先

会長 小笠原 正志

電話・FAX : 019-638-7611



あけましておめでとうございます



永井地区まちづくり情報紙を発行しています。

永井地区の住環境を、地域住民みんなで考えていけるように、永井地区まちづくりの会の活動報告、地域の現状、その他まちづくりに関する情報をお届けします。安全、安心で住みよい永井地区を目指しています。

どうぞ関心を持ってお読みいただきますようお願いいたします。

住民パワー結集



JR 岩手飯岡駅東口駅前ロータリーの花壇にチューリップの球根植え

《今号の主な内容》

2 面 : 特 集

☞ 「未来へつなごう！永井の鴨助堰」

3 面 : 各班の活動状況 ・ その他

☞ 永井地区に伝わる伝統行事について

☞ 景観からの地域づくり事業について

☞ JR 岩手飯岡駅東口駅前ロータリーの花壇づくりについて

この情報紙は 2010 年全労済地域貢献助成事業で作られています。

将来の鴨助堰のイメージ



生き物調査



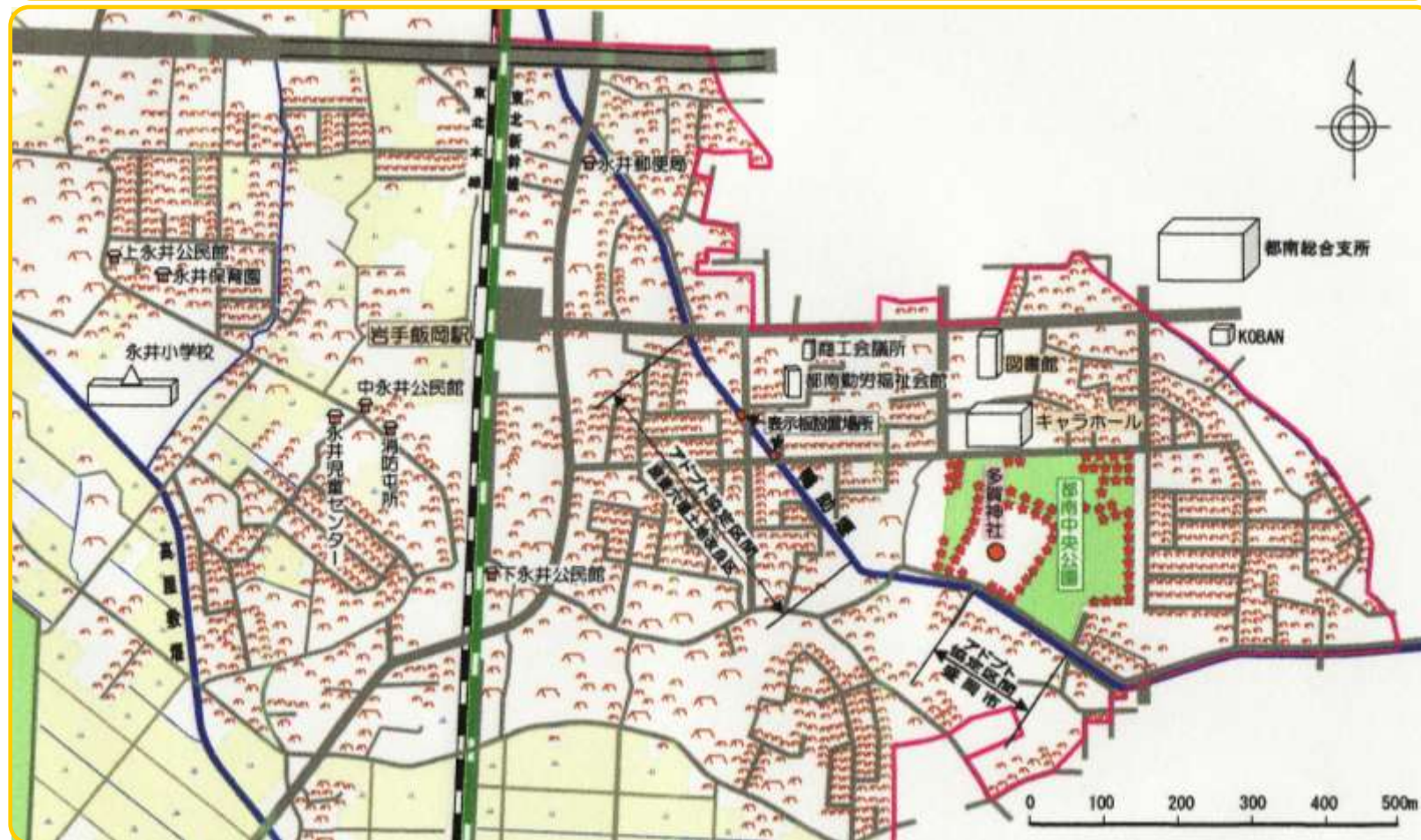
植物や水辺の生き物



未来へつなごう！ 永井の鴨助堰



永井地区「鴨助堰表示板」除幕式
平成 22 年 11 月 26 日（金）
永井地区を流れる鴨助堰の案内や説明が書かれた表示板の除幕式が行われました。祝辞に盛岡市議兼平孝信様より「100 年後の子ども達に鴨助堰の自然を残してあげたい。それには今、私たちが自然を取り戻し、守っていく努力が必要、一緒に頑張りましょう」というお話をいただきました。



鴨助堰への思い

鴨助堰は永井地区の真ん中を流れている堰です。田園地帯から近年住宅化し、次第に鴨助堰も汚水やヘドロ・ゴミが目立ちはじめ、特に真夏には悪臭が漂うほどです。
永井地区まちづくりの会では、「水辺と花の里」プロジェクトチームを立ち上げ、みんなで鴨助堰を何とか清流化し、錦鯉の放流やホタルの放流そしてフェンスの内側には紫陽花や菜の花、水仙やチューリップなど四季折々の花を植栽し、水辺公園のように親しめる環境をつくり「みんなで潤いのあるきれいな住みよい街へ」と願って活動しています。
本年 4 月からスタートしました。永井地区のみなさん、私たちと一緒に活動しませんか。お待ちしております。

経 過（抜粋）

4 月 17 日 鴨助堰の清掃。
6 月 9 日 鯉の放流について現地で市側との話し合い。
7 月 5 日 鹿妻穴堰土地改良区とアドプト協定の締結。
8 月 30 日 「水辺(鴨助堰)と花の里」プロジェクトの協力者募集。
9 月 13 日 「第 1 回鴨助堰の打ち合わせ会」を開催。
10 月 15 日 鹿妻穴堰土地改良区と表示板デザイン打ち合わせ。
10 月 18 日 「第 2 回鴨助堰の打ち合わせ会」を開催。
11 月 15 日 「第 3 回鴨助堰の打ち合わせ会」を開催。
11 月 26 日 鴨助堰の表示板完成除幕式。
11 月 29 日 鴨助堰の今後の活動について。
12 月 10 日 盛岡市とアドプト協定の話し合い。

ちょこっと知識

鴨助堰は鹿妻本堰排水路の支流です。
鹿妻穴堰ができたのは、1,599 年南部藩主、南部信直が水田耕作地の開発を計って、命を受けた鉾山師が湯坂山の連崖剣長根に長さ 12m 幅 2m の隧道(穴)を掘り、雫石川の流れを取り入れたのが始まりです。
鹿妻という名前は、旧鹿妻村地域に引水する事を目的とした事に由来しています。
その後、現在まで鹿妻穴堰頭首工の改築、ダム新築、鹿妻本堰より分水する幹線水路の新設・改良を施行。この農業水路は田畑だけでなく私たちの生活に多く役立っています。この水路を維持管理しているのが、現在の鹿妻穴堰土地改良区です。
永井地区を流れる鴨助堰をきれいにしようという活動でアドプト協定をしました。

清掃活動等

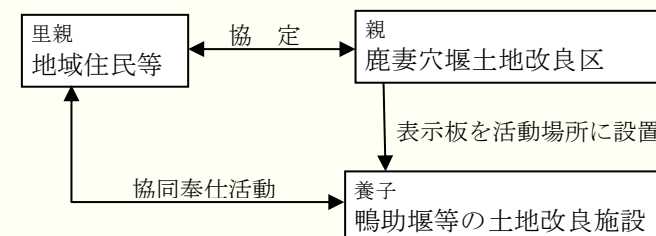


アドプト活動とは

アドプト活動とは公共施設等の管理にあたり、地域住民の参加を得て、清掃や美化等を地域住民と行政等の協働で進める活動です。
この活動により身近な土地改良施設に愛着をもってもらい、快適で、豊かな住環境を形成することを目的としています。

※アドプト (Adopt) : 養子縁組

〇アドプト協定の仕組み



永井地区まちづくりの会、鹿妻穴堰土地改良区、岩手県土地改良事業団体連合会との協働で行う環境美化活動です。

ワークショップ

「歴史・伝統文化」班より

永井のさんさ踊りについて

三本柳のさんさ踊りを本流とし、かつての永井村当時から受け継がれて来た永井のさんさ踊りを後世にしっかり伝えようと、まちづくり活動の一環として「歴史・伝統文化」班が取り組んでいます。

今までに指導者のリストアップ（上永井 12 名、中永井 3 名、下永井 5 名）をし、各公民館長に確認を依頼しています。他に太鼓 9 名、笛 2 名、踊り 9 名、歌 2 名の方々に協力をお願いし了解を得ています。

今後 1 月中旬に実行委員会（仮）を立ち上げ地区のイベントとしての広がりや、保存のための視覚化も併せて検討していきます。



「景観からの地域づくり」班より

これまでまちづくりの会として、お宝マップの作成など様々な地域資産の調査・発掘を行ってきました。

その中で気づいたことは、昔からの道路沿いを中心に農家の生垣が残っていること、また新興住宅街の中にも新たな生垣群が誕生していることでした。

「生垣は文化のバロメーター」ともいわれるように、この生垣の緑に注目し、永井の景観づくりに生かせればと活動をはじめました。これまで話し合いと 3 回の地域の景観調査を行いました。

今後は調査の成果をまとめながら生垣による実効性のある街路景観整備のモデルプランづくりを考えていきます。



「水辺の里と花」班より まちづくりの会の声掛けに多くの方々（60 人超え）の参加をいただき、11 月 20 日に JR 岩手飯岡駅東口、ロータリーの花壇にチューリップの球根、約 2,000 個を植えました。色は 5 色（赤、白、黄色、桃、紫）チューリップが咲き競う季節が楽しみです。



次回予告

- ①景観からの地域づくり事業について
- ②ワークショップ、プロジェクトチーム経過報告

永井地区まちづくりの会に参加しませんか！？

永井地区まちづくりの会は、毎月最終月曜日（祝祭日の場合は火曜日）、午後 6 時半から永井児童センターで定例会を行っています。見学も大歓迎。興味のある方は是非お気軽にどうぞ。ご意見・ご要望のある方は問い合わせ先にご連絡ください。

永井地区まちづくりの会情報紙は、まちづくりの会と一緒に参加している、盛岡市・NPO グラウンドワークいわて、の協力を得て作成されています。今後も盛岡市・NPO・地域の協働のモデルケースとして、共に活動していきます。（情報紙編集 太田利彦・但木正・内田三千子）